

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	市民生活部	課名	市民生活課
------	-------	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	1 防犯カメラ整備補助金					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 継続
事業費	12,600		12,500	100		
特定財源	5,544		5,000	544		
一般財源	7,056		7,500	△ 444		

【事業概要】

地域における自主的な防犯活動の一環として、見守り活動の補完等を目的に、自治会・町内会等が設置する防犯カメラの整備費用の一部を補助します。

【事業内容】

対象者	地域団体(自治会、町内会、コミュニティ協議会等)
対象経費	防犯カメラの設置にかかる費用(機器購入、専用柱、設置工事費)
補助率	対象経費の5/6
補助額	防犯カメラ1台あたり上限25万円
その他	設置・運用にあたり、県指針の規定を適切に満たすこと。

・財源措置

- ・県補助金…補助率1/2(1台あたり上限10万円)
- ・地域還元財源(ごみ処理手数料)

・将来のコスト負担(千円)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
歳入	5,544			
歳出	12,600			

【その他】

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	市民生活部	課名	男女共同参画課
------	-------	----	---------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	2 LGBT(性的マイノリティ)支援事業																				
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 継続															
事業費	1,995		1,700	295																	
特定財源	226		300	△ 74																	
一般財源	1,769		1,400	369																	
【事業概要】	性的マイノリティへの差別や偏見をなくし、誰もが尊重され自分らしく暮らすことのできる社会をつくることを目指し、当事者や家族等を対象とした電話相談や市民への啓発事業を引き続き行います。また、性の多様性に関する講演ができる市民スピーカーを新たに養成し、市内の学校や企業等に派遣することにより、市民の理解を広げます。																				
【事業内容】	<p>①市民スピーカー養成講座 529千円</p> <p>②市民を対象とした啓発 1,175千円 上映会+講演会、冊子やグッズの配布など</p> <p>③当事者や家族等を対象とした電話相談事業 291千円 毎月1回</p> <p>・財源措置 人権啓発活動委託金(国) 採択事業(講演会の講演料及び旅費を想定)の100%</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td>226</td> <td>226</td> <td>226</td> <td>226</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>1,995</td> <td>1,995</td> <td>1,995</td> <td>1,995</td> </tr> </tbody> </table>							R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入	226	226	226	226	歳出	1,995	1,995	1,995	1,995
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																	
歳入	226	226	226	226																	
歳出	1,995	1,995	1,995	1,995																	
【その他】	<p>電話相談事業</p> <p>札幌市 毎週木曜日 4時間</p> <p>千葉市 月1回 4時間</p> <p>静岡市 月1回 3時間</p> <p>福岡市 第2木・第3土 4時間</p> <p>堺市 毎週水曜 7時間</p>																				

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	市民生活部	課名	男女共同参画課
------	-------	----	---------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名 3 男性の家庭活躍推進事業																					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C																
事業費	8,000		3,400	4,600		新規・拡充等 拡充															
特定財源	250			250																	
一般財源	7,750		3,400	4,350																	
【事業概要】	<p>女性の職業生活における活躍を推進するためには、女性だけでなく、男性を含めた社会全体の働き方や意識の改革が必要です。 家事や育児など、男性の家庭生活への参画を推進するため、育児休業を1か月以上取得した男性労働者への奨励金の支給額を増額します。 また、新婚・子育て世代に対する夫婦向けセミナーを実施します。</p>																				
【事業内容】	<p>①男性の育児休業取得奨励金 事業費 7,500千円 育児休業を取得した男性労働者及びその事業主に対して奨励金を支給する。</p> <p>&lt;支給額&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児休業(1か月未満)を取得した男性労働者:100千円</li> <li>・育児休業(1か月以上)を取得した男性労働者:200千円(R2拡充: +100千円)</li> <li>・対象者を雇用する事業主:300千円(1回限り)</li> </ul> <p>②セミナーの開催 事業費 500千円 上記奨励金受給予定者や、婚姻届提出者を対象にセミナーを開催する。 夫婦のコミュニケーション術や家事分担、将来かかるお金のことなどを学ぶことにより、男性の家庭活躍や女性の職業生活における活躍について夫婦で共通認識を持ってもらう。</p> <p>・財源措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域女性活躍推進交付金(国) 採択事業の1/2</li> <li>・将来のコスト負担(千円)</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td>250</td> <td>250</td> <td>250</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>8,000</td> <td>8,000</td> <td>8,000</td> <td>8,000</td> </tr> </tbody> </table>							R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入	250	250	250	250	歳出	8,000	8,000	8,000	8,000
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																	
歳入	250	250	250	250																	
歳出	8,000	8,000	8,000	8,000																	
【その他】	<p>・新潟県 新潟イクメン応援プラス認定企業向け助成金 [対象] 「イクメン応援プラス認定企業」の事業主及び当該企業に勤務する男性労働者 [支給額] 事業主5万円、労働者5万円</p>																				

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	市民生活部	課名	男女共同参画課
------	-------	----	---------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	4 新男女共同参画行動計画策定事業費				
-----	--------------------	--	--	--	--

	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 新規
事業費	1,990			1,990		
特定財源						
一般財源	1,990			1,990		

【事業概要】 現行の「第3次新潟市男女共同参画行動計画」の計画期間が令和2年度で終了することから、令和3年度を始期とする新行動計画「第4次男女共同参画行動計画」を策定します。

- 【事業内容】
- ①男女共同参画審議会の開催(6回)
  - ②「DV防止・被害者支援基本計画」部分の改定に係る検討会議
  - ③市長からの諮問に対し、審議会答申(計画案)を作成、パブリックコメントを実施
  - ④新行動計画の印刷・配布

・財源措置

・将来のコスト負担(千円)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
歳入				
歳出				2,000

【その他】 新計画の基礎となる「男女共同参画基礎調査」を令和元年度に実施済。

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	危機管理防災局	課名	防災課
------	---------	----	-----

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	5 避難場所鍵ボックス整備事業																				
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 新規															
事業費	5,693			5,693																	
特定財源	2,846			2,846																	
一般財源	2,847			2,847																	
【事業概要】	<p>本市では避難施設の近隣に居住する職員が、夜間休日の施設開錠にあたりますが、大規模災害時には職員自身が被災し、迅速に施設を開放できないケースが想定されます。施設の鍵を格納する暗証番号式のボックスを整備することで、避難者が速やかに建物内へ退避し、安全を確保できる体制の強化を図ります。</p>																				
【事業内容】	<p>鍵ボックス費用 4,554千円 鍵ボックス設置費用 1,139千円</p> <p>・財源措置</p> <p>国補助金(社会資本整備交付金) 1/2</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入					歳出				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																	
歳入																					
歳出																					
【その他】																					

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	危機管理防災局	課名	防災課
------	---------	----	-----

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	6 備蓄物資整備事業					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 拡充
事業費	22,644		13,789	8,855		
特定財源						
一般財源	22,644		13,789	8,855		

【事業概要】 災害に備えた各家庭における食料等の備蓄をお願いしているところですが、災害発生時において、自助・共助による備蓄物資が活用できない場合を想定し、発災直後に必要となる食料や生活必需品等を備蓄する事業です。  
本市の被害想定を算出した防災基礎調査に基づき、保存期限や必要数量を踏まえた、主食・保存水・衛生用品・毛布等の更新を行うとともに、他都市の災害で課題となった停電への対策として発電機の拡充を図ります。

【事業内容】

- ・購入予定物資
- 【更新分】 18,633千円
  - 主食(アルファ化米等) 5,160千円
  - 保存水 1,922千円
  - 毛布(アルミブランケット含む) 10,112千円
  - 衛生用品 617千円
  - 物資入替運搬費 822千円
- 【拡充分】 4,000千円
  - 発電機・投光器セット 4,000千円
- ・その他(物資保管場所合鍵複製費用) 11千円
- ・将来のコスト負担(千円)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
歳入				
歳出	21,362	19,257	17,823	27,991

【その他】

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	文化スポーツ部	課名	文化創造推進課
------	---------	----	---------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	7 アーツカウンシル新潟運営事業							
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	<table border="1"> <tr> <td>新規・拡充等</td> <td>継続</td> </tr> </table>	新規・拡充等	継続
新規・拡充等	継続							
事業費	42,882		48,500	△ 5,618				
特定財源			4,000	△ 4,000				
一般財源	42,882		44,500	△ 1,618				

【事業概要】

市民の文化芸術活動の活性化や文化と他分野との連携を推進し、本市の持続的な文化創造都市の推進体制を構築するため、文化芸術の専門家によるアーツカウンシル新潟を引き続き運営します。  
 活動基盤・仕組みづくりに対する助成や市民団体等の企画・広報への助言・相談などの支援、各種文化事業の調査・研究を進めるほか、市の施策に対する支援や評価を行っていきます。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムに全市一体となって取り組みます。

【事業内容】

1. アーツカウンシル新潟の業務

業務	主な内容
①市民の文化芸術活動支援	市民の文化芸術活動に対する相談業務、助成事業、文化プログラムの認証事務等 ・相談業務(企画運営、財源確保、広報手段、人材マッチング等) ・助成事業(市内文化芸術団体の活動基盤・仕組みづくり等に対する助成) ・beyond2020プログラム認証事務
②調査・研究	市の文化政策及び文化芸術活動に関する現状調査、文化の他分野への活用に向けた取り組み等
③情報発信	各種助成・アーツカウンシル新潟の支援事業等の情報発信(ホームページ、SNSなど)、市民向け講座の実施等
④企画・立案	市及び市関連機関の文化芸術関連事業に対する助言や企画運営支援(東京2020NIPPONフェスティバル「わらアートまつり」ほか)、文化創造交流都市ビジョン評価検証等

2. 人員体制

職種	職務	人数
プログラムディレクター(PD)	運営統括(PO育成含む)	1人
プログラムオフィサー(PO)	各業務担当	5人
専門スタッフ(臨時職員)	書類、データ整理、作業補助等	1人

・将来のコスト負担(千円)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
歳入				
歳出	36,700	36,700	36,700	36,700

【その他】

部・区名	文化スポーツ部	課名	歴史文化課
------	---------	----	-------

事業名	8 (仮称)新潟市文書館整備事業				
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C
事業費	298,322		10,000	288,322	
特定財源	260,961		10,000	250,961	
一般財源	37,361			37,361	

新規・拡充等	拡充
--------	----

【事業概要】

市民の貴重な財産として収蔵・公開を行っている本市所有の歴史資料(歴史公文書等)は、収蔵場所の不足により、市内6施設に分散して保管している状態であり、利用者に不便を強いています。

歴史資料の分散保管を改善し、収蔵・公開の拠点施設として、葛塚地域実行計画に基づき、北区太田地区において学校統合により閉校となった太田小学校校舎を再利用し、(仮称)新潟市文書館を新設整備します。

令和3年度中の供用開始に向け、令和元年度は基本・実施設計を実施し、令和2年度は改修工事を行います。

【事業内容】

施設概要

- ・所在地 北区太田817
- ・整備面積 2,240.5㎡  
(うち収蔵部分796㎡/整理・執務部分336㎡/公開・活用部分303㎡ ほか)
- ・機能概要 文書収蔵庫、特別収蔵庫、低温管理室、閲覧室、資料公開室、講座・映像室、執務室 ほか

整備スケジュール(予定)

令和元年度:基本・実施設計 令和2年度:整備工事 令和3年度:供用開始

これまでの経緯

平成24年度 「(仮称)新潟市文書館整備基本計画」策定  
 平成25年度 複数の既存施設について文書館転用を検討(～平成28年度)  
 平成27年度 太田ちいきコミュニティ協議会地域活性化検討委員会において旧太田小学校跡地の利活用を検討  
 平成28年度 葛塚地区地域ワークショップ開始(旧太田小跡地活用の検討)  
 平成29年度 葛塚地区地域ワークショップ終了  
 →旧太田小を市施設として継続利用すること、及び、避難所機能の確保を北区策定の「葛塚地域実行計画」において短期的方針として旧太田小の文書館転用を明記  
 令和元年度 基本・実施設計

・財源措置

国庫補助金(空き家対策総合支援事業補助金) 50%  
 起債(一般補助施設) 75%

・将来のコスト負担(千円)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
歳入	未定			
歳出	未定			

【その他】

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	文化スポーツ部	課名	スポーツ振興課
------	---------	----	---------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	9 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会推進事業					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 拡充
事業費	78,553		19,200	59,353		
特定財源	1,000		1,000			
一般財源	77,553		18,200	59,353		

【事業概要】 スポーツの振興、ホストタウン相手国であるロシア、フランスとの交流の継続・発展、および交流人口の拡大による地域経済の活性化を目的に、東京2020大会直前合宿の受入れとそれに伴う交流事業、および聖火リレーにおけるミニセレブレーション等を実施するほか、共生社会へ向けた理解促進につながるパラリンピック聖火フェスティバルを実施します。

- 【事業内容】
- ・東京2020大会直前合宿の受入れとそれに伴う交流事業を実施します。
  - ・パブリックビューイング等機運醸成の取組を実施します。
  - ・聖火リレーにおけるミニセレブレーションを実施します。
  - ・パラリンピック聖火フェスティバルを実施します。

- ・財源措置  
新潟県「東京オリンピック・パラリンピック」事前キャンプ誘致推進補助金  
補助率2分の1(ホストタウン登録の場合3分の1)、限度額1,000千円

- ・将来のコスト負担(千円)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
歳入	0	0	0	0
歳出	0	0	0	0

【その他】 合宿実施国がホストタウン登録国であった場合には、一般財源の2分の1の特別交付税措置があります。

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	観光・国際交流部	課名	国際観光課
------	----------	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	10 外国人誘客促進事業							
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	<table border="1"> <tr> <td>新規・拡充等</td> <td>拡充</td> </tr> </table>	新規・拡充等	拡充
新規・拡充等	拡充							
事業費	73,500		60,000	13,500				
特定財源								
一般財源	73,500		60,000	13,500				

【事業概要】	<p>訪日外国人観光客に、本市へ更に多く訪れてもらうことを目的に、知名度の向上と海外セールスの強化を図ります。</p> <p>【平成30年延べ外国人宿泊者数実績】 7万7千人泊</p>															
【事業内容】	<p>①新潟を組み込んだ旅行商品を造成してもらうため、海外旅行社に対してセールスを行います。 ②個人旅行化が進む海外市場に向けて、本市の知名度向上のため、海外メディアやインフルエンサー等を招聘し、海外における本市の魅力の発信を行います。</p> <p>・財源措置 なし</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>73,500</td> <td>73,500</td> <td>73,500</td> <td>73,500</td> </tr> </tbody> </table>		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入					歳出	73,500	73,500	73,500	73,500
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度												
歳入																
歳出	73,500	73,500	73,500	73,500												
【その他】																

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	観光・国際交流部	課名	広域観光課
------	----------	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	11 観光客おもてなし態勢促進事業				
-----	-------------------	--	--	--	--

	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 拡充
事業費	26,300		18,500	7,800		
特定財源	1,500		5,500	△ 4,000		
一般財源	24,800		13,000	11,800		

【事業概要】	本市への来訪者の満足度を高め、さらなる誘客につなげることを目的に、国内外からの旅行者が快適に滞在し、行動できる受入環境を整備します。															
【事業内容】	<p>新潟ストーリープロジェクトで形成した6つの観光エリアを中心に、着地型観光創出や外国人観光客受入整備に係る補助金等を活用し、意欲ある民間事業者の支援を行い、新潟駅を起点として市内を周遊する個人旅行者へのサービスの充実を図ります。</p> <p>・財源措置 地方創生推進交付金(予定): 交付対象事業の1/2(令和2年度まで)</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>22,500</td> <td>22,500</td> <td>22,500</td> <td>18,500</td> </tr> </tbody> </table>		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入					歳出	22,500	22,500	22,500	18,500
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度												
歳入																
歳出	22,500	22,500	22,500	18,500												

【その他】	
-------	--

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	環境部	課名	環境政策課
------	-----	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	12 鳥屋野潟植生調査事業				
-----	---------------	--	--	--	--

	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 新規
事業費	4,114			4,114		
特定財源						
一般財源	4,114			4,114		

【事業概要】	鳥屋野潟における環境保全の基礎資料とするため、概ね5年毎に実施している鳥屋野潟植生調査を行います。															
【事業内容】	<p>鳥屋野潟での植生分布、群落組成及び植物相を調査し、重要種の生育状況を記録します。</p> <p>(1)植生分布調査 ・植物群落の分布を調査し現存植生図を作成</p> <p>(2)群落組成調査 ・ヨシなどの植物群落及び特徴的な植物の生育地点について、群落構造と組成種を調査</p> <p>(3)植物相調査 ・植物の種類と開花結実状況等を記録</p> <p>(4)希産植物等の生育状況調査 ・国、県、市のレッドリスト等に該当する保護上重要な植物の分布、生育状況を調査</p> <p>&lt;調査結果の主な活用方法&gt;                  ○県が進める築堤工事への情報共有、影響評価への活用                  ○鳥屋野潟周辺開発時の環境影響評価に関する基礎資料                  ○レッドデータリスト改訂に係る基礎資料</p> <p>・財源措置 なし</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> <td>R5年度</td> <td>R6年度</td> </tr> <tr> <td>歳入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入					歳出				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度												
歳入																
歳出																
【その他】																

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	環境部	課名	環境政策課
------	-----	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	13 社会課題解決型環境イノベーション推進事業				
-----	-------------------------	--	--	--	--

	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	
事業費	2,500			2,500		新規・拡充等 新規
特定財源	2,500			2,500		
一般財源						

【事業概要】

現在、本市では、多額のエネルギー代金や民間投資が市外に流出しています。エネルギー関連事業を推進することによりエネルギーの地産地消を進めることで、エネルギー代金の域外流出を防ぐだけでなく、設備導入を目的とした所得を地域内消費や地域内投資に回すことが可能となり、これを地元企業が受注することで地域経済を活性化することができます。

このため、本事業では、地元企業で構成する「地域プラットフォーム」を中心として、新たなエネルギー関連事業を創出するとともに、競争力のある地元企業を育成し、地元企業のビジネス参入機会の創出につながる仕組みを作ることを目的に、事業スキームの詳細検討や、参加企業の掘り起こしを官民協業で行います。

【事業内容】

委託料	地域プラットフォーム事務局運営の委託 (書類作成、各種調査、講師謝礼、その他事務局運営にかかる経費)	2,400
旅費	先進地視察にかかる職員の旅費	100
合計		2,500

・財源措置

環境省「脱炭素イノベーションによる地域循環共生圏構築事業」(定額補助)を想定  
(補助対象経費など詳細は未定)

・将来のコスト負担(千円)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
歳入				
歳出				

【その他】

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	福祉部	課名	高齢者支援課
------	-----	----	--------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	14 介護人材確保事業																				
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	<table border="1"> <tr> <td>新規・拡充等</td> <td>新規</td> </tr> </table>	新規・拡充等	新規													
新規・拡充等	新規																				
事業費	2,551			2,551																	
特定財源																					
一般財源	2,551			2,551																	
【事業概要】	<p>令和7年(2025年)介護人材需給ギャップ(厚生労働省)では、新潟県で3,973人の介護人材が不足するとされており、新潟市においても介護人材確保は喫緊の課題となっております。</p> <p>そのため、介護職員確保のための普及啓発活動や介護職員のモチベーション向上につながる事業を実施し、介護人材の確保・定着促進を目指します。</p>																				
【事業内容】	<p>①介護の魅力を伝えるパンフレットの配布 1,237千円</p> <p>小・中学生を対象に若手職員へのインタビューや介護職のやりがいなどを掲載した介護の魅力を伝えるパンフレットを配布します。</p> <p>②介護職員への表彰 1,314千円(③の事業費も含む)</p> <p>新潟市内介護サービス事業所で精力的な活動をしている職員を表彰します。それらの活動事例を市ホームページで公開し、広く周知します。</p> <p>③介護事業所への表彰</p> <p>職場環境改善やサービスの質の向上に取り組んだ市内介護サービス事業所を表彰します。それらの改善事例を市ホームページで公開し、広く周知します。</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>1,432</td> <td>1,432</td> <td>1,432</td> <td>1,432</td> </tr> </tbody> </table>							R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入					歳出	1,432	1,432	1,432	1,432
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																	
歳入																					
歳出	1,432	1,432	1,432	1,432																	
【その他】	<p>上記事業は、令和2年度の介護人材確保事業のうち、重点事業分について記載。</p>																				

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	福祉部	課名	地域包括ケア推進課
------	-----	----	-----------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	15 多職種合同介護予防ケアプラン検討事業																				
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 新規															
事業費	16,170			16,170																	
特定財源	14,149			14,149																	
一般財源	2,021			2,021																	
【事業概要】	介護予防ケアマネジメントの質を向上させるため、理学療法士や管理栄養士などの多職種が参加し、介護予防ケアプランに対して専門的な視点で助言する検討会を開催します。																				
【事業内容】	<p>○開催方法 各区ごとに開催（各区年4回）</p> <p>○参加者 地域包括支援センター、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、歯科衛生士、管理栄養士、区役所健康福祉課</p> <p>・財源措置 国 25% 県12.5% 保険料等50% 一般12.5%</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1" data-bbox="391 1265 1260 1361"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td>16,923</td> <td>16,923</td> <td>16,923</td> <td>16,923</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>19,340</td> <td>19,340</td> <td>19,340</td> <td>19,340</td> </tr> </tbody> </table>							R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入	16,923	16,923	16,923	16,923	歳出	19,340	19,340	19,340	19,340
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																	
歳入	16,923	16,923	16,923	16,923																	
歳出	19,340	19,340	19,340	19,340																	
【その他】																					

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	こども未来部	課名	こども家庭課
------	--------	----	--------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	16 産後ケア事業					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 拡充
事業費	15,768		5,529	10,239		
特定財源	7,884		2,764	5,120		
一般財源	7,884		2,765	5,119		

【事業概要】	産後うつや育児不安解消のため、医療機関等に宿泊して必要な保健指導を受ける宿泊ケアのほか、新たに助産師などによる産後のデイケアや訪問ケアの費用の一部を助成します。				
【事業内容】	対象者	家族などから十分な家事、育児の援助が受けられない産婦及び生後4か月未満の児で、産後に心身の不調又は育児不安等がある人や、その他特に支援が必要と認められる人。			
	内容	出産後の身体・乳房管理及び生活面の指導や沐浴、授乳等の育児指導、その他必要とする保健指導 【基本】 宿泊ケア:1日あたり食事3回提供 デイケア:10:00～16:00(食事1回) 訪問ケア:90分～120分			
	助成額		宿泊ケア	デイケア	訪問ケア
		①市民税課税世帯で 児童手当の所得制限限度額以上	10,000円	6,000円	4,000円
		②市民税課税世帯で 児童手当の所得制限限度額以下	15,000円	9,000円	6,000円
		③市民税非課税世帯 (夫婦ともに非課税)	20,000円	12,000円	8,000円
	・財源措置 母子保健衛生費国庫補助金1/2補助				
	・将来のコスト負担(千円)				
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	歳入	7,884	7,884	7,884	7,884
	歳出	15,768	15,768	15,768	15,768

【その他】	
-------	--

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	こども未来部	課名	保育課
------	--------	----	-----

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	17 保育士宿舎借り上げ支援事業				
-----	------------------	--	--	--	--

	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 新規
事業費	27,000			27,000		
特定財源	18,000			18,000		
一般財源	9,000			9,000		

【事業概要】	保育の担い手の県外への流出抑制及び県外からの移住促進による保育人材の確保と定住人口の増加を目的に、市内保育士養成校新卒者または県外からのUIJターン者で、市内民間保育園等に就職した者に対して、宿舎の借り上げを行う事業者に対し、費用の一部を助成します。																											
【事業内容】	<table border="1"> <tr> <td>補助交付対象者</td> <td>保育園等を経営する者が借り上げた保育士宿舎に、雇用する保育士を居住させる事業者</td> </tr> <tr> <td>雇用保育士要件</td> <td>・事業実施年度前年度に市内指定保育士養成校を卒業した正規の常勤保育士 ・雇用開始日の1年以内に本市に転入した県外からのUIJターン者で 正規の常勤保育士</td> </tr> <tr> <td>補助額</td> <td>宿舎1戸当たり対象経費の総額が、月額61,000円の3/4(45,000円)を上限とする。※1,000円未満切り捨て</td> </tr> <tr> <td>補助期間</td> <td>雇用開始日が属する会計年度から起算して、5年目の会計年度末まで</td> </tr> <tr> <td>見込人数</td> <td>初年度:50人、2年目:100人、3年目150人、4年目200人、5年目以降250人</td> </tr> <tr> <td>補助金交付要件</td> <td>・県企業情報ナビへの登録 ・自社採用情報ページの作成</td> </tr> </table> <p>・財源措置 国庫補助金(保育対策総合支援事業費補助金):2/3</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td>36,000</td> <td>54,000</td> <td>72,000</td> <td>90,000</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>54,000</td> <td>81,000</td> <td>108,000</td> <td>135,000</td> </tr> </tbody> </table>	補助交付対象者	保育園等を経営する者が借り上げた保育士宿舎に、雇用する保育士を居住させる事業者	雇用保育士要件	・事業実施年度前年度に市内指定保育士養成校を卒業した正規の常勤保育士 ・雇用開始日の1年以内に本市に転入した県外からのUIJターン者で 正規の常勤保育士	補助額	宿舎1戸当たり対象経費の総額が、月額61,000円の3/4(45,000円)を上限とする。※1,000円未満切り捨て	補助期間	雇用開始日が属する会計年度から起算して、5年目の会計年度末まで	見込人数	初年度:50人、2年目:100人、3年目150人、4年目200人、5年目以降250人	補助金交付要件	・県企業情報ナビへの登録 ・自社採用情報ページの作成		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入	36,000	54,000	72,000	90,000	歳出	54,000	81,000	108,000	135,000
補助交付対象者	保育園等を経営する者が借り上げた保育士宿舎に、雇用する保育士を居住させる事業者																											
雇用保育士要件	・事業実施年度前年度に市内指定保育士養成校を卒業した正規の常勤保育士 ・雇用開始日の1年以内に本市に転入した県外からのUIJターン者で 正規の常勤保育士																											
補助額	宿舎1戸当たり対象経費の総額が、月額61,000円の3/4(45,000円)を上限とする。※1,000円未満切り捨て																											
補助期間	雇用開始日が属する会計年度から起算して、5年目の会計年度末まで																											
見込人数	初年度:50人、2年目:100人、3年目150人、4年目200人、5年目以降250人																											
補助金交付要件	・県企業情報ナビへの登録 ・自社採用情報ページの作成																											
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																								
歳入	36,000	54,000	72,000	90,000																								
歳出	54,000	81,000	108,000	135,000																								
【その他】																												

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	保健衛生部	課名	地域医療推進課
------	-------	----	---------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	18 在宅・救急医療連携推進パイロット事業																				
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 新規															
事業費	4,305			4,305																	
特定財源	3,477			3,477																	
一般財源	828			828																	
【事業概要】	<p>高齢化の進展に伴い、今後も増え続ける見込みである救急搬送に対応するため、救急搬送時の情報共有の強化や市民向け普及啓発に取り組みます。また、人生の最終段階において本人の意思が尊重されやすい医療提供体制を構築するための連携ルール策定に向けた検証を行います。</p>																				
【事業内容】	<p>「(仮称)新潟市救急医療連携シート」の作成・運用 3,000千円</p> <table border="1"> <tr> <td>内容</td> <td>既往歴や服薬状況、緊急時連絡先のほか、終末期医療などに関する本人の意思や家族の希望など今後の治療や療養に関わる本人の意向を含めた情報共有シートを作成し、救急時に関係者間で共有・活用します。</td> </tr> </table>						内容	既往歴や服薬状況、緊急時連絡先のほか、終末期医療などに関する本人の意思や家族の希望など今後の治療や療養に関わる本人の意向を含めた情報共有シートを作成し、救急時に関係者間で共有・活用します。													
内容	既往歴や服薬状況、緊急時連絡先のほか、終末期医療などに関する本人の意思や家族の希望など今後の治療や療養に関わる本人の意向を含めた情報共有シートを作成し、救急時に関係者間で共有・活用します。																				
	<p>在宅医療・救急医療ワーキンググループの開催 780千円</p> <table border="1"> <tr> <td>内容</td> <td>モデルエリア内の病院・診療所、高齢者等入所施設、救急隊等関係機関から構成する協議の場を設置し、事業の進捗管理を行うとともに進め方について協議します。</td> </tr> </table>						内容	モデルエリア内の病院・診療所、高齢者等入所施設、救急隊等関係機関から構成する協議の場を設置し、事業の進捗管理を行うとともに進め方について協議します。													
内容	モデルエリア内の病院・診療所、高齢者等入所施設、救急隊等関係機関から構成する協議の場を設置し、事業の進捗管理を行うとともに進め方について協議します。																				
	<p>救急医療市民ワークショップ、意思決定支援研修会の開催 525千円</p> <table border="1"> <tr> <td>内容</td> <td>もしものときに受けたい医療や受けたくない医療、正しい医療のかかり方や#7119など各種サービスについて理解や関心を深めます。また、介護支援専門員や生活相談員など、市民の終末期医療に関する意思決定を支援する方を対象とした研修会を開催します。 救急医療市民ワークショップ(2回)、意思決定支援研修会(3回)</td> </tr> </table>						内容	もしものときに受けたい医療や受けたくない医療、正しい医療のかかり方や#7119など各種サービスについて理解や関心を深めます。また、介護支援専門員や生活相談員など、市民の終末期医療に関する意思決定を支援する方を対象とした研修会を開催します。 救急医療市民ワークショップ(2回)、意思決定支援研修会(3回)													
内容	もしものときに受けたい医療や受けたくない医療、正しい医療のかかり方や#7119など各種サービスについて理解や関心を深めます。また、介護支援専門員や生活相談員など、市民の終末期医療に関する意思決定を支援する方を対象とした研修会を開催します。 救急医療市民ワークショップ(2回)、意思決定支援研修会(3回)																				
	<p>・財源措置 国 38.5% 県19.25% その他23% 一般19.25%</p>																				
	<p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td>6,504</td> <td>6,504</td> <td>6,504</td> <td>6,504</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>8,055</td> <td>8,055</td> <td>8,055</td> <td>8,055</td> </tr> </tbody> </table>							R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入	6,504	6,504	6,504	6,504	歳出	8,055	8,055	8,055	8,055
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																	
歳入	6,504	6,504	6,504	6,504																	
歳出	8,055	8,055	8,055	8,055																	
【その他】																					

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	経済部	課名	産業政策課
------	-----	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	19 (仮)スタートアップ支援事業							
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C			
事業費	50,000			50,000		<table border="1"> <tr> <td>新規・拡充等</td> <td>新規</td> </tr> </table>	新規・拡充等	新規
新規・拡充等	新規							
特定財源	25,000			25,000				
一般財源	25,000			25,000				

【事業概要】	<p>・地域経済の持続的発展を図るには、既存企業の生産性向上に加え、新しいビジネスモデルにより大きく成長するスタートアップ企業が重要となります。このことから、スタートアップ企業の輩出・呼び込みを目的に、スタートアップ企業の成長を加速させる「アクセラレーション・プログラム」の実施やイノベーション創出を促進する各種プログラムを実施します。</p> <p>・また、新たなテクノロジーやサービスを持つスタートアップ企業を市内既存企業とマッチングすることで、既存産業の高度化・効率化を促進します。</p>															
【事業内容】	<ol style="list-style-type: none"> <li>アクセラレーション・プログラム実施事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートアップ企業の成長を加速させる「アクセラレーション・プログラム」の実施</li> </ul> </li> <li>イノベーション創出促進の各種プログラムの実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的課題や技術開発等の最新動向に関するシンポジウムの開催</li> <li>・ビジョン思考、デザイン思考等イノベーション創出の思考法習得のプログラムの実施</li> <li>・スタートアップ関連事業を一元的に情報発信するHP作成・運営</li> </ul> </li> <li>スタートアップ・イノベーションコーディネート業務委託事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・市のスタートアップ・イノベーション政策を推進するとともに、キーパーソンやキーとなる企業をコーディネートする外部の高度専門人材を配置</li> </ul> </li> </ol>															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入					歳出				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度												
歳入																
歳出																
【その他】																

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	経済部	課名	企業誘致課
------	-----	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	20 製造・物流業誘致推進事業																							
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	<table border="1"> <tr> <td>新規・拡充等</td> <td>新規</td> </tr> </table>	新規・拡充等	新規																
新規・拡充等	新規																							
事業費	81,390			81,390																				
特定財源	4,639			4,639																				
一般財源	76,751			76,751																				
【事業概要】	<p>現行の企業立地緊急対策事業助成金の拡充措置の終了と併わせ、新たな工業用地への進出に係る助成について新たな制度を創設するとともに、県や東京事務所と連携した市外企業へのセールスプロモーションを実施し、魅力ある企業の誘致を推進します。また、今後の更なる工業用地検討に向け企業ニーズ調査を実施します。</p>																							
【事業内容】	<p>◆実施項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業立地補助金</li> <li>・誘致活動費</li> <li>・製造業実態調査委託費</li> </ul> <p>◆用地取得助成制度内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者</td> <td>新たに新潟市へ進出する製造・物流企業</td> </tr> <tr> <td>対象地域</td> <td>新たに市が指定する工業用地内</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆誘致活動費 市外企業の本市への誘致に向けて、新たな工業用地の積極的なPRを行うため、首都圏で開催する展示会等に出展する。</p> <p>◆製造業実態調査 将来的な開発需要について検討するため、市内外企業の用地取得ニーズ調査を実施する。</p> <p>◆財源措置 事業費一部を地方創生推進交付金で充当見込み(国:1/2、市:1/2)</p> <p>◆将来のコスト負担 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>137,335</td> <td>351,455</td> <td>601,000</td> </tr> </tbody> </table>						項目	内容	対象者	新たに新潟市へ進出する製造・物流企業	対象地域	新たに市が指定する工業用地内		R3年度	R4年度	R5年度	歳入				歳出	137,335	351,455	601,000
項目	内容																							
対象者	新たに新潟市へ進出する製造・物流企業																							
対象地域	新たに市が指定する工業用地内																							
	R3年度	R4年度	R5年度																					
歳入																								
歳出	137,335	351,455	601,000																					
【その他】																								

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	経済部	課名	雇用政策課
------	-----	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	21 企業参加型奨学金返済支援事業				
-----	-------------------	--	--	--	--

	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 新規
事業費	3,098			3,098		
特定財源						
一般財源	3,098			3,098		

【事業概要】	<p>若者の市内就労の促進と企業の人手不足解消を目指し、奨学金の返済を抱える新規学卒者等の経済的負担を諸手当等により支援する企業の支援額の一部を市が補助します。</p>															
【事業内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○支援対象 奨学金返済支援制度を設けた企業</li> <li>○支援金額 年間個人返済額200千円を上限とし、企業が200千円の範囲内で負担した金額の1/2を補助(上限400千円)</li> <li>○募集期間 3年</li> <li>○支援人数 令和2年度:30人 令和3・4年度:各55人 計140人</li> <li>○支援期間 最大7年間</li> </ul> <p>・財源措置</p> <p>広域都市圏連携事業となった場合、特別交付税として措置(措置率0.8)</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> <td>R5年度</td> <td>R6年度</td> </tr> <tr> <td>歳入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>8,598</td> <td>14,098</td> <td>14,098</td> <td>11,098</td> </tr> </table>		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入					歳出	8,598	14,098	14,098	11,098
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度												
歳入																
歳出	8,598	14,098	14,098	11,098												
【その他】																

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	経済部	課名	雇用政策課
------	-----	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名 <b>22 社員幸福度向上応援事業</b>																					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	<table border="1"> <tr> <td>新規・拡充等</td> <td>新規</td> </tr> </table>	新規・拡充等	新規													
新規・拡充等	新規																				
事業費	4,100			4,100																	
特定財源	2,050			2,050																	
一般財源	2,050			2,050																	
【事業概要】	<p>企業の多様で柔軟な働き方の実践に向け、社員の幸福度を高めて生産性・創造性の向上を図る市内中小企業の取組を支援します。また、そのような働き方の実践により、若い世代の結婚や出産の希望をかなえる仕事と家庭の両立環境を実現するとともに、若者が求める魅力ある企業を増やします。</p>																				
【事業内容】	<p>○支援概要          社員幸福度向上モデル企業コーディネーター派遣          &gt;社員が幸せを感じる組織づくりワークショップ          &gt;モデル企業におけるアクションプランの作成・実施          &gt;社員幸福度向上の効果測定</p> <p>○支援対象          市内中小企業5社程度を選定</p> <p>○その他          モデル事業の効果波及に向けては、関連事業において、経営者向けセミナーの開催や啓発パンフレットの発行などを行う</p> <p>・財源措置          地方創生推進交付金充当(事業費の1/2)</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td>2,100</td> <td>2,150</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>4,200</td> <td>4,300</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入	2,100	2,150			歳出	4,200	4,300		
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																	
歳入	2,100	2,150																			
歳出	4,200	4,300																			
【その他】																					

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	経済部	課名	雇用政策課
------	-----	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	23 学生×地域の魅力探究プロジェクト(新潟暮らし創造運動の推進事業内)																				
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 拡充															
事業費	4,440		1,400	3,040																	
特定財源	2,220		700	1,520																	
一般財源	2,220		700	1,520																	
【事業概要】	<p>進学や就職のタイミングで市外転出する高校生・大学生及び本市に縁のある首都圏在住者に対し、地域活動を行う団体とともに地域の課題を解決するプロジェクトなどを通じて、継続的なつながりを持ち続ける仕組みを構築します。</p> <p>新潟市の魅力的な人材に触れさせ、新潟市の魅力を認識してもらい、移住・定住促進及び関係人口の創出・拡大につなげます。</p>																				
【事業内容】	<p>○学生×地域の魅力探究プロジェクト「トビラ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢学生と地域活動団体(7団体)が協働で企画・運営するプロジェクト</li> <li>※進行・管理はにいがたイナカレッジに委託</li> </ul> <p>○SMOUTサービスを活用した関係人口創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢庁内外の関係人口事業を調査及び整理</li> <li>➢「SMOUT」に掲載する関係人口事業の基準を策定し、庁内外の事業を「SMOUT」に掲載</li> <li>➢「SMOUT」を告知するチラシ等の作成し、市内の高校生・大学生に告知</li> <li>➢「SMOUT」登録者との連絡調整</li> </ul> <p>・財源措置</p> <p>地方創生推進交付金充当(事業費の1/2)</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入					歳出				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																	
歳入																					
歳出																					
【その他】																					

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	農林水産部	課名	農林政策課
------	-------	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	24 元気な農業応援事業					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 拡充
事業費	783,000		783,000			
特定財源						
一般財源	783,000		783,000			

【事業概要】

「もうかる農業」の実現に向けて、経営規模の拡大、生産性の向上やコスト低減に対する取り組みや、高収益な園芸作物の導入に向けた取り組みに対する支援を、米対策支援・園芸対策支援・新たな産地づくり支援の3事業で行います。

米対策支援では、米づくりの経営規模拡大等に必要な機械・施設の導入、生産コストの低減や生産の効率化を図るための機械(スマート農業)の整備に対する支援、加工用米等の地域内流通の取り組みを支援します。

園芸対策支援では、米に偏った生産体制から園芸による複合経営の転換を図るための機械・施設の整備や新規園芸導入等への支援、麦・大豆の生産性向上に向けた取り組みを支援します。

新たな産地づくり支援では、大規模園芸産地の形成に向けた産地の取り組みに支援します。

【事業内容】

【主な内容】

区分		内容	補助額
米対策支援	ハード	規模拡大支援	補助対象事業費の10分の3以内
		スマート農業導入支援	補助対象事業費の10分の3以内 ⇒2分の1以内に拡充
	ソフト	地域内流通支援	加工用米:7,000円/10a以内 米粉用米:10,600円/10a以内 酒造好適米:5,000円/10a以内
		輸出用米取組拡大支援	輸出用米の増加面積に対して支援
		スマート農業取組支援	ドローン免許の取得支援
園芸対策支援	ハード	規模拡大支援	補助対象事業費の10分の3以内
		スマート農業導入支援	補助対象事業費の10分の3以内
	ソフト	生産性向上、地域内流通支援	いいものづくり支援:10,000円~20,000円/10a以内 地域内流通支援:5,000円/10a以内
	地域特産作物助成	地域特産作物の作付面積に対して助成	10,000円/10a以内
	新たな産地づくり支援	機械・施設の整備支援	国若しくは県の補助事業における全体事業費に対して4分の1以内を上乗せ支援

・財源措置

・将来のコスト負担(千円)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
歳入				
歳出	783,000	783,000	783,000	783,000

【その他】

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	農林水産部	課名	食と花の推進課
------	-------	----	---------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	25 園芸作物販路拡大推進事業					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	
事業費	4,509			4,509		新規・拡充等 新規
特定財源	2,056			2,056		
一般財源	2,453			2,453		

【事業概要】	<p>県が園芸振興基本戦略を策定し、1億円産地を現状の51から101へと倍増させようとする中、新潟市地域でもJAなど各産地が増産させる品目を絞り込んでいます。</p> <p>農林水産部は、4JAがすでに取り組んでおり、令和元年度より白根地区（JA新潟みらい管内）で先行して産地化実践中である枝豆を、まずは重点品目として取り上げ「生産支援」「販売支援」「担い手支援」に取り組めます。</p> <p>販売においては、生産拡大に伴い供給量が需要量を上回ることで、既存の価格が保てない、値崩れすることが懸念されることから、新たな需要を開拓することや他産地のシェアを奪うことが必要になります。</p> <p>そこで、市長のリーダーシップのもと地域を一体にまとめ、若者など「新たなターゲットの開拓」や加工品など「新たな食べ方提案」といった新たな需要開拓支援及びトップセールスなどのプロモーション展開を行い、各産地の販売目標の達成、ひいては「もうかる農業」の実現に結び付けます。</p>															
【事業内容】	<p>1.オール新潟体制の確立</p> <p>1)市長をトップにした戦略会議の立上げ</p> <p>2)マーケット最新動向研修会の開催</p> <p>2.新たなプロモーション活動の展開</p> <p>1)域外</p> <p>(1)市長トップセールス</p> <p>(2)首都圏豆まきプロジェクト</p> <p>2)域内</p> <p>(1)地域一体キャンペーン</p> <p>3.販促における地域課題の解決</p> <p>1)新たな需要の開拓</p> <p>2)物流事業可能性調査</p> <p>・財源措置 旅費(市長トップセールスを除く)を除く事業費の半分について、国の交付金を充てる。</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> <td>R5年度</td> <td>R6年度</td> </tr> <tr> <td>歳入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>3,559</td> <td>3,559</td> <td>3,559</td> <td>3,559</td> </tr> </table>		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入					歳出	3,559	3,559	3,559	3,559
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度												
歳入																
歳出	3,559	3,559	3,559	3,559												
【その他】																

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	農林水産部	課名	農林政策課
------	-------	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	26 新規就農者確保・育成促進事業							
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	<table border="1"> <tr> <td>新規・拡充等</td> <td>継続</td> </tr> </table>	新規・拡充等	継続
新規・拡充等	継続							
事業費	16,360		16,360					
特定財源								
一般財源	16,360		16,360					

【事業概要】

農業者の高齢化と担い手不足が深刻化する中、早期に次世代の担い手育成及び新たな労働力確保に着手することが求められています。  
 このため、新たな就農者が農業技術や知識を習得するための研修に対して支援を行うことで、本市の農業を担う意欲的な担い手を確保・育成します。  
 主には新規就業者を雇用して必要な技術や知識を指導・提供する農業法人等に対して研修費を助成することで、雇用先の確保と研修環境の整備を促します。  
 また、新潟市アグリパークにおいて、就農希望者向けの園芸作物栽培研修等を実施することで、本市の園芸振興に資する人材の確保・育成につなげます。

【事業内容】

(1)新規就業者研修支援事業: 16,120千円

対象	就業1年目助成 (上限8万円/月)	就業2年目助成 (上限4万円/月)	助成期間 (最長)
新規就業者	給料の4/10以内	給料の1/4以内	18か月
新規就業の障がい者	給料の3/4以内	給料の1/2以内	24か月

(2)就農研修業務委託: 240千円

研修(R1例示)	内容
野菜コース	露地・施設野菜の一連の基本的知識・技術を学ぶ
果樹コース	果樹の一連の基本的知識・技術を学ぶ

※各研修は数日回/月。その他、就農支援講演会を年1回開催。

・財源措置

市単独事業

・将来のコスト負担(千円)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
歳入	—	—	—	—
歳出	16,360	16,360	16,360	16,360

【その他】

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	農林水産部	課名	食と花の推進課
------	-------	----	---------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	27 農業応援隊受入推進事業					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 新規
事業費	3,497			3,497		
特定財源						
一般財源	3,497			3,497		

【事業概要】

農繁期の労働力不足を補うため、農業に関心のある人と、農作業の手助けを必要としている市内の農家を結び付けます。既存の農業サポーター制度に加え、「関係人口」に着目し、市外の方を人口減を支える人材として捉え、継続的に関わる関係を構築します。

「関係人口」とは、定住人口でもなく、観光・交流人口でもなく、その土地に住んでいなくても、東京などの都会に暮らしながら多様なかたちで継続的に地域に関わる人々のことです。  
 かつて地方から都市に移動してきた第一世代は、出身地という故郷を持ち、ゆるやかな関わりがありますが、その子ども達にあたる第二世代は、都市で生まれ育ち、親の出身との関わりも深くないため、地方にふるさとを求め「ふるさと難民」(＝地域に貢献したい)となっています。  
 総務省のアンケート調査では、「移住してみたい」と答えたのは全体の30.6%ですが、その中で「移住する予定がある」と答えたのは、わずか0.1%(20代男性)で、移住はハードルが高いです。  
 一方、観光・交流人口も、地域の役に立ちたいというニーズを踏まえたものになっておらず、地域住民の交流疲れや関わりが一過性などで継続的な関係が薄いです。

【事業内容】

対象	主に新潟市民以外ですが、市民も参加可
報酬	支給なし
交通費	支給なし
保険	市で加入
宿泊	アグリパーク、市内のホテルなどを予定 (受け入れ農家の自宅も可) 費用は自己負担または受け入れ農家
食事	受け入れ農家が負担
活動日・時間	市と農家で活動日を計画し募集 R2年度は果樹・野菜の3種類の作業で 各作業を2泊3日で予定
受け入れ農家	15軒程度を予定
活動日数	1軒あたり3人とし、延べ135人日を予定

・財源措置

・将来のコスト負担(千円)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
歳入				
歳出	2,500	2,000	1,000	1,000

【その他】

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	農林水産部	課名	農業活性化研究センター
------	-------	----	-------------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	28 農産物高付加価値化推進事業					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 継続
事業費	10,000		10,000			
特定財源						
一般財源	10,000		10,000			

【事業概要】	<p>農業者の所得向上や農業振興を目的に、付加価値の高い商品開発を進めるため、農産物の様々な機能性成分に着目し、科学的根拠を裏付けとした調査研究に取り組ます。</p>															
【事業内容】	<p>【農産物高付加価値化プロジェクト】 大学発ベンチャー等と連携し、マーケティング面と最先端技術による農作物の品種改良の両面から商品開発を行い、通常の品種改良より短期間で土地利用型(水田)農業に利益が還元できるよう試験研究を行います。</p> <p>【大麦プロジェクト】 未利用部位である大麦の「ふすま」に着目し、丸麦とともに付加価値向上に努め、土地利用型(水田)農業に利益が還元できるよう試験研究を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財源措置(特定財源なし)</li> <li>・将来のコスト負担(千円)</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>9,000</td> <td>9,000</td> <td>9,000</td> <td>9,000</td> </tr> </tbody> </table>		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入					歳出	9,000	9,000	9,000	9,000
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度												
歳入																
歳出	9,000	9,000	9,000	9,000												
【その他】																

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	農林水産部	課名	ニューフードバレー特区課
------	-------	----	--------------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	29 新潟市国家戦略特別区域農業保証制度資金				
-----	------------------------	--	--	--	--

	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 継続
事業費	90,600		62,400	28,200		
特定財源	89,000		62,000	27,000		
一般財源	1,600		400	1,200		

【事業概要】

商工業とともに市内において農業を営む中小企業者等の事業活動に必要な資金の調達を円滑にすることを目的に、信用保証付きで貸付を受けることができる制度資金事業を展開し、融資金額に応じて信用保証料を補助します。  
 事業開始は、平成26年度で現在6年目となっています。  
 これまでの実績は以下のとおりとなっています(令和元年11月末時点累計)。

融資件数	36件
融資金額	355,990,000円
保証料補助金	7,393,425円

※申請時ベースの合計

【事業内容】

(1)制度融資【事業費89,000千円】・・・融資実行機関への預託金(年度内貸付金)

対象者	商工業とともに市内において農業を営む中小企業者、農事組合法人、個人
貸付利率	償還期間5年以内のものは年1.45%、償還期間5年を超えるものは年1.65%

(2)信用保証料補助【事業費1,600千円】・・・制度融資利用者が支払う保証料に対する補助金

融資金額1,000万円以内	保証料の100%補助
融資金額1,000万円超5,000万円以内	保証料の50%補助

・財源措置

- (1)制度融資： 特定財源
- (2)信用保証料補助： 一般財源

・将来のコスト負担(千円)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
歳入	104,000	117,000	128,000	137,000
歳出	105,600	118,600	129,600	138,600

※今後の経済情勢等により融資申請数や融資金額は変動します

【その他】

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	農林水産部	課名	農林政策課
------	-------	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	30 新たな森林経営管理関連事業(林地台帳運用・森林環境譲与税積立金含む)					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 継続
事業費	37,000		37,000			
特定財源	37,000		37,000			
一般財源						

【事業概要】

「林業の成長産業化」と「森林資源の適切な管理」を推進を図るため、森林所有者による経営管理の実施や地域で能力と意欲のある事業者が持続的に施業実施できるよう、林地台帳制度の向上及び土地境界明確化並びに間伐等の実施促進などに対して、市町村も取り組む必要性が高まっています。  
本市では、国で創設した森林環境譲与税を活用して、「森林の質や量」を向上させる効果が発揮できる4つの事業を主に展開させるとともに、将来にわたる間伐等の事業化に向けて森林環境譲与税活用基金への積立てを実施します。

【事業内容】

①林地台帳運用事業	・林地台帳公表・情報提供事務経費(郵送料) ・システム保守・賃借料
②新たな森林経営管理事業	・意向調査等(1地区経営管理に関するアンケートを実施) ・間伐経費
③(仮称)森林整備活動支援事業	・森林整備活動に対する市単独補助事業 ・樹木粉碎機購入費(貸出用)
④森林環境譲与税の活用(区取組推進)	・松くい虫被害木調査(北区・中央区・秋葉区・西区・西蒲区) ・支障木伐採経費等(中央区)
⑤森林環境譲与税活用基金積立金	・森林環境譲与税活用基金への積立金

・財源措置  
森林環境譲与税 R1～R3:37,000千円(見込)  
R4～R6:54,000千円(見込)

・将来のコスト負担(千円)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
歳入	37,000	54,000	54,000	54,000
歳出	37,000	54,000	54,000	54,000

【その他】

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	都市政策部	課名	都市計画課
------	-------	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	31 都市デザイン推進事業																				
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	<table border="1"> <tr> <td>新規・拡充等</td> <td>拡充</td> </tr> </table>	新規・拡充等	拡充													
新規・拡充等	拡充																				
事業費	22,300		6,000	16,300																	
特定財源	7,000			7,000																	
一般財源	15,300		6,000	9,300																	
【事業概要】	<p>「新潟都心の都市デザイン」の具現化に向け、都心のにぎわい創出を目的に、「新潟駅・万代地区周辺まちづくり協議会」の運営や、最適な道路空間の形成に向けた社会実験を地元関係者等と協働で開催するとともに、ビッグデータを活用した歩行者動線や空間シミュレーションを行うことで、最適な歩行ルートやサイン整備計画を検討し、官民連携によるまちづくりを推進します。</p>																				
【事業内容】	<p><b>【都市デザインの推進】</b>          平成30年度に策定した「新潟都心の都市デザイン」の具現化に向け、令和2年度には引き続き「新潟駅・万代地区周辺まちづくり協議会」を運営し関係者と共有するとともに、都心部の賑わい創出に向け、回遊性向上により効果的なわかりやすい案内サインのあり方を検討します。</p> <p><b>【歩行者空間の創出】</b>          土地利用や交通状況等の実態、関係者の意向を踏まえ、都心のエリア特性に応じた道路に求められる機能や活用方策等を地元と勉強会などを通じて共有・検討し、最適な道路空間の形成に向けた社会実験を地元商店街等と協働で開催します。合わせてビッグデータを活用し、歩行者動線や空間シミュレーションを行い、最適な歩行者ルートを選定します。</p> <p>・財源措置          県補助金(補助率50%上限2,000千円)、一部:国委託金(充当率100%)</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>35,000</td> <td>20,000</td> <td>31,000</td> <td>31,000</td> </tr> </tbody> </table>							R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入	-	-	-	-	歳出	35,000	20,000	31,000	31,000
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																	
歳入	-	-	-	-																	
歳出	35,000	20,000	31,000	31,000																	
【その他】																					

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	都市政策部	課名	まちづくり推進課
------	-------	----	----------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	32 古町通7番町地区第一種市街地再開発事業				
-----	------------------------	--	--	--	--

	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 継続
事業費	809,360		1,444,817	△ 635,457		
特定財源	768,790		1,444,769	△ 675,979		
一般財源	40,570		48	40,522		

【事業概要】 地権者等で構成される市街地再開発組合が実施し、かつて新潟の繁華街の中心地であった古町地区において、シンボルであった大和新潟店建物と隣接した周辺の建物との共同化を図ります。平成27年度に都市計画決定、平成28年度に組合設立認可がされ、本組合に移行しました。平成29年度末から建築工事に着手しており、工事等に関する事業費の一部を国とともに助成します。

【事業内容】

- ◆ 事業者 古町通7番町地区市街地再開発組合
- ◆ 事業年度 平成27年度～令和2年度
- ◆ 新施設概要
  - ・所在地 中央区古町通7番町及び西堀前通7番町の各一部
  - ・地区面積 約0.8ha
  - ・延べ面積 約33,300㎡
  - ・主な用途 商業、業務
- ・財源措置
  - ・市街地再開発事業に要する費用について、原則として、国、市、組合が各3分の1を負担
- ・将来のコスト負担(千円)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
歳入	-	-	-	-
歳出	-	-	-	-

【その他】

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	都市政策部	課名	都市交通政策課
------	-------	----	---------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名 33 交通結節点等機能改善事業						
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	
事業費	85,219		10,330	74,889		新規・拡充等 拡充
特定財源	57,647		5,000	52,647		
一般財源	27,572		5,330	22,242		
【事業概要】	<p>「新バスシステム・BRT」総括における課題への取り組みの一環として、青山交通結節点への防風パネル設置や万代シティ結節点(新潟日報メディアシップバス停)へのバス停上屋設置、新潟駅におけるバス停のバリアフリー化に向けた社会実験などを通じて、バス待ちや乗降環境の改善により乗換負担の軽減を図ります。</p>					
【事業内容】	<p>【バス待ち環境改善】</p> <p>①青山交通結節点の防風パネル増設など ②万代シティ結節点(新潟日報メディアシップバス停)の上屋設置など</p> <p>【新潟駅の拠点性向上及びバス停バリアフリー対応】</p> <p>③バス停バリアフリー化社会実験 ④貸切バス需要見込調査</p> <p>・財源措置 交通結節点防風パネル増設 起債(充当率90%) バス停上屋設置 国交付金(充当率50%), 市負担分50%:起債(充当率90%) バス停バリアフリー化社会実験 一部:国委託金(充当率100%)</p>					
【その他】						

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	都市政策部	課名	都市交通政策課
------	-------	----	---------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名 34 多言語対応バスシステム等拠点性向上事業								
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C			
事業費	6,160			6,160		<table border="1"> <tr> <td>新規・拡充等</td> <td>新規</td> </tr> </table>	新規・拡充等	新規
新規・拡充等	新規							
特定財源								
一般財源	6,160			6,160				
【事業概要】	<p>「にいがた新バスシステム時刻・運賃検索サイト」を多言語対応(英・中・韓)可能にするとともに、「観光循環バス」及び「区バス」の位置情報検索機能を追加することで、市民(外国籍含む)のみならず、国内外から新潟市への来訪者にとっても、わかりやすく、満足度の高いバス利用環境の構築を図ります。国際都市の公共交通機関として備えるべき機能を実装することにより、県都にいがたの拠点性向上に寄与します。</p>							
【事業内容】	<p>【にいがた新バスシステム時刻・運賃検索サイトの機能向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①多言語対応(英語・中国語(繁体字・簡体字)・韓国語)</li> <li>②空港リムジン、佐渡汽船線の表示内容を改善 ※現在は、所要時間しか表示されないため、発着時刻の表示を追加</li> <li>③観光循環バスの位置情報を追加</li> <li>④区バスの位置情報を追加</li> </ul> <p>・財源措置 なし</p>							
【その他】								

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	都市政策部	課名	新潟駅周辺整備事務所
------	-------	----	------------

別紙2 様式2  
単位:千円

事業名	35 新潟駅周辺整備事業					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 継続
事業費	8,725,222		4,890,856	3,834,366		
特定財源	8,304,498		4,857,048	3,447,450		
一般財源	420,724		33,808	386,916		

【事業概要】	<p>着実に進展する鉄道を挟む南北市街地の一体化や自動車・自転車・歩行者の安全かつ円滑な交通を確保するとともに、「日本海拠点都市にいがた」としてふさわしい都市機能の強化を図ることを目的に、鉄道高架化や幹線道路及び駅前広場の整備を進めます。</p>															
【事業内容】	<p><b>【連続立体交差】</b></p> <p>①鉄道高架化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続立体交差事業 : 在来線高架橋工事 財源措置: 国5.5/10, 市4.5/10</li> </ul> <p>②立体交差道路整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟駅西線 : 調査, 用地取得</li> <li>・新潟駅東線 : 設計 財源措置: 国1/2, 市1/2</li> </ul> <p><b>【関連幹線道路整備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出来島上木戸線 : 移設補償, 用地取得 財源措置: 国1/2, 市1/2</li> </ul> <p><b>【駅前広場整備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・万代広場 : 移転補償, 用地取得, 万代改札移設工事</li> <li>・高架下交通広場 : 昇降設備工事, 支障物移設工事 財源措置: 国5.5/10, 市4.5/10</li> </ul> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td>13,431,756</td> <td>8,907,500</td> <td>8,006,900</td> <td>2,812,350</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>13,896,606</td> <td>9,340,000</td> <td>8,397,000</td> <td>2,955,000</td> </tr> </tbody> </table>		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入	13,431,756	8,907,500	8,006,900	2,812,350	歳出	13,896,606	9,340,000	8,397,000	2,955,000
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度												
歳入	13,431,756	8,907,500	8,006,900	2,812,350												
歳出	13,896,606	9,340,000	8,397,000	2,955,000												
【その他】																

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	土木部	課名	土木総務課
------	-----	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名 <b>36</b> 道路橋りょうの維持補修事業																					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 継続															
事業費	3,672,000		930,334	2,741,666																	
特定財源	3,488,200		883,364	2,604,836																	
一般財源	183,800		46,970	136,830																	
【事業概要】	道路・橋りょうなど多くの道路インフラ施設は、高度成長期の人口増加に伴い集中的に整備されており、今後急速に老朽化が進んでいく見込みである。また、国が示す防災・減災・国土強靱化対策を確実に推進するためにも、道路インフラ施設の維持補修や更新、耐震化事業を推進します。																				
【事業内容】	<p>○「橋りょう補修費(交付金)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(主)新潟中央環状線 大阿賀橋 塗装塗替工</li> <li>・(主)新潟亀田内野線 関屋大橋 下部工補修工</li> <li>・(国)403号 小阿賀野橋 橋面防水工 他72橋</li> </ul> <p>○「橋りょう点検(交付金)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(国)113号 ござれや阿賀橋 橋梁点検 他810橋</li> </ul> <p>○「道路防災対策事業(交付金)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(国)402号 E515(角海浜) 法面对策工事</li> <li>・(国)402号 A505(間瀬) 法面对策工事</li> <li>・(一)弥彦岩室線 A505(間瀬) 法面对策工事 他19対策</li> </ul> <p>○「道路補修費(交付金)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(国)113号 三和町他 切削オーバーレイ(2層) 他29工事</li> </ul> <p>○「道路施設修繕計画策定費(交付金)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道、県道、市道 路面下空洞調査 市内一円</li> </ul> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td>3,488,200</td> <td>3,488,200</td> <td>3,488,200</td> <td>3,488,200</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>3,672,000</td> <td>3,672,000</td> <td>3,672,000</td> <td>3,672,000</td> </tr> </tbody> </table>							R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入	3,488,200	3,488,200	3,488,200	3,488,200	歳出	3,672,000	3,672,000	3,672,000	3,672,000
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																	
歳入	3,488,200	3,488,200	3,488,200	3,488,200																	
歳出	3,672,000	3,672,000	3,672,000	3,672,000																	
【その他】																					

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	土木部	課名	土木総務課
------	-----	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	37 道路除雪対策事業					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 継続
事業費	4,548,450		2,687,407	1,861,043		
特定財源	1,396,900		1,176,800	220,100		
一般財源	3,151,550		1,510,607	1,640,943		

【事業概要】	<p>安心・安全な冬期道路交通確保を目的に、国・県・市道における車道・歩道除雪や防雪柵設置などの対策を行います。また、将来にわたる安定的な除雪体制の確保に向けICTを導入することや、除雪協力業者の支援を目的に車道除雪機械の購入費用の一部を助成します。</p>															
【事業内容】	<p>1 道路除雪、防雪対策                  車道除雪、歩道除雪、凍結防止剤散布、消雪パイプ保守点検、防雪柵設置など、冬期道路交通の確保に必要な除雪や防雪対策を実施します。                  (全市一斉出動で、5回程度分の除雪稼働費を要求)</p> <p>2 ICTの導入(除雪車運行管理システムの運用)                  除雪車にスマートフォン端末を搭載し、インターネット上で稼働状況を把握することで、除排雪作業および事務作業の効率化を図ります。</p> <p>3 各種交付制度について                  (1)新潟市道路除雪機械購入補助金交付制度                  除雪協力業者に対し、道路除雪機械の購入費用の一部を助成する制度を継続し、除雪協力業者へ支援を行います。</p> <p>(2)新潟市歩道除雪奨励金交付事業                  児童・生徒の安心・安全な通学路を確保するため、地域の歩道をボランティアで除雪してくださる団体に対し、奨励金を支払う事業を継続します。</p> <p>(3)新潟市自治会除雪助成制度                  自治会・町内会(以下、「自治会」という。)が、除雪協力業者等に依頼して道路の除排雪をした場合に、自治会に助成金を支払う制度を継続します。                  平成30年度には、自治会の負担軽減のため、自治会が除雪協力業者への除雪費の支払い前に市からの助成金の受け取りが可能となるよう、制度改正を行いました。</p> <p>・財源措置                  雪寒指定路線の除雪費の一部・・・国2/3、市1/3                  雪寒指定路線の消雪パイプ更新費の一部・・・国6/10、市4/10                  雪寒指定路線の恒久防雪柵設置費の一部・・・国6/10、市4/10                  その他・・・市10/10</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td>1,396,900</td> <td>1,396,900</td> <td>1,396,900</td> <td>1,396,900</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>4,548,450</td> <td>4,548,450</td> <td>4,548,450</td> <td>4,548,450</td> </tr> </tbody> </table>		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入	1,396,900	1,396,900	1,396,900	1,396,900	歳出	4,548,450	4,548,450	4,548,450	4,548,450
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度												
歳入	1,396,900	1,396,900	1,396,900	1,396,900												
歳出	4,548,450	4,548,450	4,548,450	4,548,450												

【その他】	<p>■除雪延長</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車道</td> <td>4,930.9km</td> <td>4941.3km</td> </tr> <tr> <td>歩道</td> <td>546.2km</td> <td>556.6km</td> </tr> </tbody> </table>		H30年度	R1年度	車道	4,930.9km	4941.3km	歩道	546.2km	556.6km	<p>■除雪機械台数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車道</td> <td>965台</td> <td>969台</td> </tr> <tr> <td>歩道</td> <td>201台</td> <td>201台</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,163台</td> <td>1,170台</td> </tr> </tbody> </table>		H30年度	R1年度	車道	965台	969台	歩道	201台	201台	合計	1,163台	1,170台
	H30年度	R1年度																					
車道	4,930.9km	4941.3km																					
歩道	546.2km	556.6km																					
	H30年度	R1年度																					
車道	965台	969台																					
歩道	201台	201台																					
合計	1,163台	1,170台																					

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	土木部	課名	道路計画課
------	-----	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	38 新潟中央環状道路整備事業				
-----	-----------------	--	--	--	--

	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 継続
事業費	5,000,000		5,000,000			
特定財源	4,762,949		4,764,300	△ 1,351		
一般財源	237,051		235,700	1,351		

【事業概要】	新潟中央環状道路は、本市の多核連携型の都市構造において、市域に放射状に広がる都心アクセス軸を環状に結び、交流連携を強化する道路(地域拠点連携軸)であり、都心部へ流入する通過交通の削減と、災害に強い道路網の形成、アクセス性の向上による新たな企業立地の支援、地域の活性化等を目的とし、延べ18.5kmの区間において事業を推進します。																			
【事業内容】	<p>&lt;起点～国道49号&gt;</p> <p>1 浦木工区 L=1.3km 道路改良</p> <p>2 横越バイパス L=0.6km 道路改良</p> <p>&lt;国道49号～国道8号&gt;</p> <p>3 城所工区 L=1.1km 道路改良</p> <p>4 二本木工区 L=2.1km 道路改良, 用地買収, 物件補償</p> <p>5 嘉瀬・割野工区 L=1.9km 用地買収, 物件補償, 遺跡調査</p> <p>6 酒屋町工区 L=1.4km 用地買収, 物件補償</p> <p>7 信濃川渡河工区 L=0.6km 橋梁下部</p> <p>8 大郷・鷲巻工区 L=3.2km 道路改良</p> <p>9 根岸・大通工区 L=1.2km 道路改良</p> <p>&lt;国道8号～国道116号&gt;</p> <p>10 中ノ口工区 L=1.7km 道路改良</p> <p>11 黒埼工区 L=2.6km 道路改良, 橋梁下部・上部</p> <p>12 明田工区 L=0.8km 道路改良</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td>4,750,000</td> <td>4,750,000</td> <td>4,750,000</td> <td>4,750,000</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>5,000,000</td> <td>5,000,000</td> <td>5,000,000</td> <td>5,000,000</td> </tr> </tbody> </table>						R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入	4,750,000	4,750,000	4,750,000	4,750,000	歳出	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																
歳入	4,750,000	4,750,000	4,750,000	4,750,000																
歳出	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000																
【その他】																				

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	土木部	課名	公園水辺課
------	-----	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	39 公園施設の維持補修事業				
-----	----------------	--	--	--	--

	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 継続
事業費	504,000		420,184	83,816		
特定財源	428,300		368,400	59,900		
一般財源	75,700		51,784	23,916		

【事業概要】	公園を誰もが安心・安全に利用できるように更新時期を迎える公園施設の安全確保と機能保全を図るため、遊具等の定期的な更新やトイレ、園路などのバリアフリー化を行い、公園施設の良好な維持管理に努めます。															
【事業内容】	<p>○公園施設長寿命化対策支援事業(162公園、222施設)【交付金事業】          供用開始から20年以上が経過する公園の割合が50%を越え、公園利用者の安全・安心の確保やコストの低減、平準化を図ることを目的に公園施設長寿命化計画に基づき、遊具等の更新や改修を行います。          令和2年度予算額 382,500千円</p> <p>○都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業(2公園、2施設)【交付金事業】          誰もが安全に安心してトイレや園路などの公園施設を利用できるように、バリアフリー化を行います。(令和2年度まで事業延長)          令和2年度予算額 41,500千円</p> <p>○公園施設適正管理推進事業(13公園 13施設)【起債事業】          2ha未満の都市公園における遊具以外(国の交付金に該当しない)の公園施設の更新・改修を行います。          令和2年度予算額 40,000千円</p> <p>○公園遊具等更新事業(31公園 37施設)【単独事業】          国の交付金に該当しない遊具等の新設や改修などを行います。          令和2年度予算額 40,000千円</p> <p>・財源措置          交付金事業【国:社交金1/2 公共事業等債:(事業費-社交金)×90%】          起債事業【公共事業等債:事業費×90%】          単独事業【市:10/10】</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td>622,278</td> <td>584,235</td> <td>688,111</td> <td>581,555</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>655,029</td> <td>614,984</td> <td>724,327</td> <td>612,163</td> </tr> </tbody> </table>		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入	622,278	584,235	688,111	581,555	歳出	655,029	614,984	724,327	612,163
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度												
歳入	622,278	584,235	688,111	581,555												
歳出	655,029	614,984	724,327	612,163												
【その他】																

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	消防局	課名	指令課
------	-----	----	-----

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	40 三者間同時通訳システム整備事業							
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	<table border="1"> <tr> <td>新規・拡充等</td> <td>新規</td> </tr> </table>	新規・拡充等	新規
新規・拡充等	新規							
事業費	187			187				
特定財源								
一般財源	187			187				

【事業概要】	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、外国人からの119番通報に的確に対応するため、電話通訳センターを介した三者間(外国人、消防局、電話通訳センター)同時通訳システムを導入します。</p>															
【事業内容】	<p>外国人からの119番通報入電時や現場活動時において、電話通訳センターを介し、必要な情報を速やかに聴取することが可能となります。</p> <p>【対応時間】 24時間365日</p> <p>【対応言語】 英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、他11か国語に対応</p> <p>・財源措置 普通交付税措置</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>198</td> <td>198</td> <td>198</td> <td>198</td> </tr> </tbody> </table>		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入					歳出	198	198	198	198
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度												
歳入																
歳出	198	198	198	198												
【その他】																

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	消防局	課名	指令課
------	-----	----	-----

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	41 Net119緊急通報システム整備事業																				
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	<table border="1"> <tr> <td>新規・拡充等</td> <td>新規</td> </tr> </table>	新規・拡充等	新規													
新規・拡充等	新規																				
事業費	5,518			5,518																	
特定財源																					
一般財源	5,518			5,518																	
【事業概要】	<p>聴覚・言語機能障がい者等からの119番通報に的確に対応するため、Net119緊急通報システムを導入します。</p>																				
【事業内容】	<p>聴覚・言語機能障がい者の方が、スマートフォン・携帯電話から消防局へ音声によらない119番通報を行えるシステムを導入し、迅速かつ的確に対応します。</p> <p>&lt;Net119緊急通報システムでできること&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事前に「自宅」や「よく行く場所」の住所を登録することで、通報場所の特定が容易となります。</li> <li>○外出先からの通報でも、GPS機能により位置情報を特定して知らせることができます。</li> <li>○アプリ画面上の選択項目(火事ですか？or救急ですか？など)をクリックしていただいで簡単に119番通報ができます。</li> <li>○通報者と消防局でチャット形式による文字対話を行うことができます。</li> </ul> <p>・財源措置 普通交付税措置</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>2,403</td> <td>2,403</td> <td>2,403</td> <td>2,403</td> </tr> </tbody> </table>							R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入					歳出	2,403	2,403	2,403	2,403
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																	
歳入																					
歳出	2,403	2,403	2,403	2,403																	
【その他】																					

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	北区	課名	地域総務課
------	----	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	42 北区役所庁舎整備事業					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 継続
事業費	1,271,058		773,000	498,058		
特定財源	878,300		773,000	105,300		
一般財源	392,758			392,758		

【事業概要】

現在の北区役所本館は建設から50年以上が経過し、雨漏り等の不具合が多く発生しているほか、バリアフリー構造ではなく、耐震性能も不足しています。また、付近にある豊栄地区公民館も同様に老朽化が進んでいることから、これらを複合化して改築し、より安心・安全で利便性が高く、区民に親しまれる施設の整備を行います。

(整備スケジュール)

- ・2017(H29)年度～2018(H30)年度 基本・実施設計
- ・2019年度～2020年度 建設工事・外構工事(1期)・新庁舎供用開始

【事業内容】

(建物概要)

北区役所および豊栄地区公民館の複合施設  
鉄骨造3階建 建築面積 約2076.70㎡ 延床面積 4588.91㎡  
周辺整備(駐車場等)

・財源措置

起債 充当率75%(豊栄地区公民館に係る整備分90%)

・将来のコスト負担(千円)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
歳入				
歳出				

【その他】

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	中央区	課名	地域課
------	-----	----	-----

別紙2 様式2

単位:千円

事業名 <b>43</b> しもまち地域活性化事業																					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	<table border="1"> <tr> <td>新規・拡充等</td> <td>新規</td> </tr> </table>	新規・拡充等	新規													
新規・拡充等	新規																				
事業費	7,600			7,600																	
特定財源																					
一般財源	7,600			7,600																	
【事業概要】	<p>市内でも人口減少・高齢化の進行が顕著な「しもまち地域」の活性化のため、しもまちの魅力を集めた場(しもまちマーケット※)を創出し、この場を通して、しもまちの魅力発信、人の交流・流入を促進することで、若い世代の定住につなげます。</p> <p>※しもまちマーケットとは しもまち地域にまつわる「ヒトやモノやコト」の魅力を紹介するHPサイトやマルシェなどの場のこと</p>																				
【事業内容】	<p>(1)しもまち地域におけるマルシェの開催(年4回) 【事業費:2,800千円】 しもまち地域の老舗・名店による出店のほか、同地域の工芸店による伝統工芸体験、地域にゆかりがある演者によるライブパフォーマンスなどを内容としたマルシェイベントを地域内の遊休地や公共施設で定期的に行うことで、しもまち地域への認知、及び交流人口の拡大を図るとともに、直に地域の魅力に触れられる機会を多数設けることで、しもまちファンの拡大を図ります。</p> <p>(2)しもまちマーケットHPサイトの作成【事業費:2,400千円】 しもまち地域のヒト・モノ・コトの魅力を発信するにあたり、時代への適応性や新しい(若者志向の)価値観を軸とした編集を行うことで、地域魅力のリノベーションを図るとともに、商店や観光スポットの情報紹介にとどまらず、しもまちで活動する人の思いやモノ・コトの背景にあるストーリーを記事として発信することで、思いやストーリーに共感・共鳴する人を地域に誘因し、共通の思いがある人どうしで繋がるきっかけを創出します。</p> <p>(3)空き家見学会やまち歩き等の開催(年24回) 【事業費:2,400千円】 しもまち地域への訪問の誘因として「食べ飲み歩き」や「歴史探訪」などのまち歩き企画を用意し、来訪者が深く地域に入り込む機会を設けるとともに、空き家見学会を開催し、空き家活用(居住)希望者への物件のマッチングにつなげます。古民家暮らしやリノベーションに理解・関心がある感度の高い若者層を中心に訴求し、新たな価値(暮らし方)の提案を行なっていきます。</p> <p>・財源措置</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> <td>R5年度</td> <td>R6年度</td> </tr> <tr> <td>歳入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入					歳出				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																	
歳入																					
歳出																					
【その他】																					

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	秋葉区	課名	地域総務課
------	-----	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	44 土砂災害地域防災行政無線整備事業					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 新規
事業費	47,853			47,853		
特定財源	47,800			47,800		
一般財源	53			53		

【事業概要】	<p>◆秋葉区の土砂災害地域において、土砂災害発生時に市民が迅速・確実に避難できるよう、緊急情報を確実に伝達することを目的に、同報無線を整備します。</p>															
【事業内容】	<p>◆ 施設整備概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副親局(操作部)設置 <span style="float: right;">秋葉区役所地域総務課執務室</span></li> <li>・MCA屋外拡声子局(モーターサイレン付) <span style="float: right;">秋葉区土砂災害地域内5ヶ所</span></li> <li>・受信拡声子局(モーターサイレン付) <span style="float: right;">秋葉区土砂災害地域内1ヶ所</span></li> <li>・再送信子局 <span style="float: right;">秋葉区土砂災害地域内1ヶ所</span></li> </ul> <p>・財源措置 起債充当率 100%【消防庁所管:緊急防災・減災事業債】 交付税算入率 70%</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>377</td> <td>631</td> <td>631</td> <td>722</td> </tr> </tbody> </table> <p>※内容:電波利用料、中継利用料、保守点検料、電気料金等</p>		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入					歳出	377	631	631	722
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度												
歳入																
歳出	377	631	631	722												
【その他】	平成29年度実施事業の継続事業															

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	秋葉区	課名	健康福祉課
------	-----	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	45 新津育ちの森移転整備事業					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 新規
事業費	5,940			5,940		
特定財源						
一般財源	5,940			5,940		

【事業概要】	<p>子育て新センター「育ちの森」を移転・整備をします。 令和4年4月に供用開始を予定しています。</p>															
【事業内容】	<p>令和2年:基本・実施設計 令和3年:改修工事</p> <p>・財源措置</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>87,670</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入					歳出	87,670			
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度												
歳入																
歳出	87,670															
【その他】																

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	秋葉区	課名	建設課
------	-----	----	-----

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	46 秋葉公園魅力up整備事業					<table border="1"> <tr> <td>新規・拡充等</td> <td>継続</td> </tr> </table>	新規・拡充等	継続
新規・拡充等	継続							
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C			
事業費	2,496		6,000	△ 3,504				
特定財源								
一般財源	2,496		6,000	△ 3,504				

【事業概要】	<p>◆区民主動de秋葉公園魅力up事業において調査や意見聴取を行った結果、公園内の案内が不備なことや、園路の段差等により歩きにくいことが判明したことから、案内施設の増設及び園路の再整備を行います。</p> <p>◆秋葉公園の利用促進のため、区民主動で段差解消のためのウッドチップ敷き等を行いさらに利用しやすい環境を整えます。</p> <p>※基本構想策定中のため、緊急性の高いものを予算計上します。R3年度以降の予算要求にて策定に基づき予算要求をします。</p>															
【事業内容】	<p>方向指示サイン設置工事 300,000円/基 × 4基=1,200,000円</p> <p>主要な分岐点に施設方向が記載された方向指示サインを設置します。</p> <p>園路再整備工事 2,700円/m × 480m=1,296,000円</p> <p>階段部の段差解消や歩きやすくするため、ウッドチップを敷きます。</p> <p>・財源措置</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> <td>R5年度</td> <td>R6年度</td> </tr> <tr> <td>歳入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入					歳出				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度												
歳入																
歳出																
【その他】																

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	南区	課名	地域総務課
------	----	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名 <b>47 地域おこし協力隊を活用した地域活性化事業</b>																					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 継続															
事業費	3,920		3,488	432																	
特定財源																					
一般財源	3,920		3,488	432																	
【事業概要】	<p>総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用し、都市圏から新潟市南区に移住可能な者を公募し、令和元年度に1名を「みなみーて地域応援隊」の隊員として委嘱しました。行政では難しい柔軟な関わり方で南区の地域活性化策を推進します。</p>																				
【事業内容】	<p>隊員の活動については、「新潟市南区みなみーて地域応援隊実施要綱」で、                  (1)新潟市南区の地域活性化に資する活動                  (2)新潟市南区のまちづくりに資する活動と定めています。                  地域のニーズをふまえて区民と協力・連携しながら、隊員の経験・興味のある分野で活動を展開します。活動時は産業振興課と連携して進めていきます。</p> <p>【令和2年度の主な活動予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ル レクチェブランディング事業                      区づくり事業の「ル レクチェブランディング事業」(産業振興課)では、果実の販路拡大や、農業の担い手増加に地域と連携しながら取り組みます。</li> <li>・「白根子行進曲復活プロジェクト」                      令和元年度に、白根商工会、地元団体と実行委員会を作り、90年前の白根大火の復興を祝い行われた白根と猫をかけた仮装行列「白根子行進曲」を復活させました。                      令和2年度は、関わった地域の方々の対話の機会を提供し、検証・評価をするとともに、今後のあり方を考えていきます。</li> <li>・南区の特産品を活かした新商品の開発・販売の促進                      区内の特産品を活かし、区づくり予算「南区ビジネスプランコンテスト」事業で募集したアイデアを中心に、新商品の開発支援、販売促進の活動を行います。                      南区の特産品の発信力が高まり、地域経済の活性化が期待されます。</li> <li>・財源措置                      総務省『「地域おこし協力隊」の推進に向けた財政措置について』に基づき、隊員の活動に要する経費が400万円を上限として特別交付税措置されます。</li> <li>・将来のコスト負担(千円)</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> <td>R5年度</td> <td>R6年度</td> </tr> <tr> <td>歳入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>3,920</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入					歳出	3,920			
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																	
歳入																					
歳出	3,920																				
【その他】	<p>全国では5,000人を超える隊員が1,061自治体で活動しています(平成30年度実績)。令和元年6月1日現在、新潟県内では23市町村で、137名の隊員が活動しています。</p>																				

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	西蒲区	課名	産業観光課
------	-----	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	48 にしかん観光周遊バス試験運行事業					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等 拡充
事業費	4,163		3,000	1,163		
特定財源						
一般財源	4,163		3,000	1,163		

【事業概要】	<p>角田山麓・岩室温泉の魅力あふれる観光資源を巡る周遊バスを運行します。 旅行形態が団体旅行から個人旅行へと変化してきている状況を踏まえ、各観光資源への公共交通によるアクセスの改善を図り、県外客や訪日外国人観光客等に対する受入態勢の充実と、区内の観光施設や隣接する観光エリアへの周遊性の向上を促進します。</p>																															
【事業内容】	<p>西蒲区内の観光資源を巡る「にしかん観光周遊ぐる～んバス」の運行 現地アクセス改善が、インバウンドをはじめとした個人旅行者誘客における喫緊の課題であるため、「新潟空港からの二次交通整備事業」と連携してバス運行を整備・拡充します。 また、新規交通手段につき引き続き認知度の向上と状況調査に努めます。 (Web広告の利用、セールス実施、試乗モニター、アンケート調査ほか)</p> <p>・事業開始 令和元年度</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>運行形態</td> <td>市内の交通事業者に委託</td> </tr> <tr> <td>料金</td> <td>1回乗車200円 1日フリーパス500円 小学生半額・未就学児無料</td> </tr> <tr> <td>主要バス停</td> <td>いわむろや、JR巻駅、上堰潟公園、カーブドッチ、角田浜、宝山酒造、レガー口</td> </tr> </table> <p>・拡充内容 運行日数</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>50日(7月～12月の土日)</td> <td>81日(4月～12月の土日、GW)</td> </tr> </table> <p>※春の角田山登山客に利用してもらうため、運行日数を拡大して4月から運行</p> <p>セールス 首都圏のメディア・旅行会社を中心に、広告や商品販売素材への掲載してもらえようセールスを実施。</p> <p>・R1実績(11月17日運行分まで、38日)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>総乗車人数</td> <td>621人</td> <td>総延べ乗車人数</td> <td>902人</td> </tr> </table> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> <td>R5年度</td> <td>R6年度</td> </tr> <tr> <td>歳入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>4,163</td> <td>3,100</td> <td>3,300</td> <td>3,500</td> </tr> </table>	運行形態	市内の交通事業者に委託	料金	1回乗車200円 1日フリーパス500円 小学生半額・未就学児無料	主要バス停	いわむろや、JR巻駅、上堰潟公園、カーブドッチ、角田浜、宝山酒造、レガー口		令和元年度	令和2年度		50日(7月～12月の土日)	81日(4月～12月の土日、GW)	総乗車人数	621人	総延べ乗車人数	902人		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入					歳出	4,163	3,100	3,300	3,500
運行形態	市内の交通事業者に委託																															
料金	1回乗車200円 1日フリーパス500円 小学生半額・未就学児無料																															
主要バス停	いわむろや、JR巻駅、上堰潟公園、カーブドッチ、角田浜、宝山酒造、レガー口																															
	令和元年度	令和2年度																														
	50日(7月～12月の土日)	81日(4月～12月の土日、GW)																														
総乗車人数	621人	総延べ乗車人数	902人																													
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																												
歳入																																
歳出	4,163	3,100	3,300	3,500																												
【その他】	<p>本事業のような現地アクセス手段を軸として、観光面で関係性が深い弥彦や寺泊、県央地域との連携を進めていきます。</p>																															

【その他】	<p>本事業のような現地アクセス手段を軸として、観光面で関係性が深い弥彦や寺泊、県央地域との連携を進めていきます。</p>
-------	---

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	教育委員会	課名	地域教育推進課
------	-------	----	---------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名 <b>49 地域と学校パートナーシップ事業</b>																					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	<table border="1"> <tr> <td>新規・拡充等</td> <td>拡充</td> </tr> </table>	新規・拡充等	拡充													
新規・拡充等	拡充																				
事業費	141,814		135,766	6,048																	
特定財源	47,271		45,255	2,016																	
一般財源	94,543		90,511	4,032																	
【事業概要】	<p>市の設置する小・中・高等学校が、さらなる学校教育活動の充実を図るとともに、豊かなコミュニティづくりのため、地域に開かれ、地域と共に歩むことができるように、学校と社会教育施設、地域との様々な活動を結ぶネットワークづくりや協働事業等を推進し、学・社・民の融合による教育を進めることを目的とし、各校に地域教育コーディネーターを配置し、事業を行います。</p> <p>【地域教育コーディネーターの業務】 職務:学校と地域活動や社会教育施設間の調整役となり、地域の人材を発掘したり、学校を核とした地域ぐるみの教育活動を企画・運営するなどの役割を担います。</p>																				
【事業内容】	<p>地域教育コーディネーターは、下記業務を目的に行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と社会教育施設(公民館など)、地域活動を結ぶネットワークづくり</li> <li>・学校の教育活動・課外活動における地域人材の参画と協働</li> <li>・学校における地域の学びの拠点づくり</li> <li>・学校の教育活動の様子を地域へ発信</li> </ul> <p>平成31年度から、高校に拡充し、市立万代高等学校にコーディネーターを配置し実施しています。令和2年度から、市立明鏡高等学校、高志中等教育学校でも実施予定(重点事業)です。</p> <p>・財源措置 学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金(国庫補助金) 1/3以内補助</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td>47,271</td> <td>47,271</td> <td>47,271</td> <td>47,271</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>141,814</td> <td>141,814</td> <td>141,814</td> <td>141,814</td> </tr> </tbody> </table>							R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入	47,271	47,271	47,271	47,271	歳出	141,814	141,814	141,814	141,814
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																	
歳入	47,271	47,271	47,271	47,271																	
歳出	141,814	141,814	141,814	141,814																	
【その他】																					

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	教育委員会	課名	教育総務課
------	-------	----	-------

別紙2 様式2

単位：千円

事業名	50 コミュニティ・スクール推進事業						
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	新規・拡充等	新規
事業費	3,705			3,705			
特定財源	255			255			
一般財源	3,450			3,450			

【事業概要】

「学校運営協議会制度」を導入した学校がコミュニティ・スクールです。  
市内の小中学校に「学校運営協議会」を設置し、保護者や地域住民等が一定の責任と権限の下、学校運営に参画し、学校、保護者、地域が共通の目標をもち、互いの責任と役割を明らかにし、有機的で緻密なチームワークを作りあげ、一体となってよりよい教育の実現に向けて連携・協働して「地域とともにある学校」づくりを進めます。

【事業内容】

学校運営協議会

(1)役割

- ・学校運営の基本方針を承認する(必須)
- ・学校運営に意見を述べるができる(任意)
- ・教職員の任用に関し、教育委員会で定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる(任意)

(2)開催回数

年間4回程度

(3)委員構成

教職員、保護者、地域住民など15名以内

(4)委員報償費

年額12,000円

(5)導入スケジュール

令和2年度 モデル実施校12校

令和3年度 モデル実施校24校

令和4年度 市内すべての小中学校に設置(小学校106校、中学校56校、中等学校1校、特別支援学校2校)

・財源措置

国がCSディレクター(コミュニティ・スクール事務員)の配置にかかる謝金や視察旅費を補助します。

・将来のコスト負担(千円)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
歳入	540			
歳出	7,548	44,228	44,228	44,228

【その他】

【政令市の導入状況】

10政令市で導入済み

【県内市町村の導入状況】

12町村で導入済み

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	教育委員会	課名	学校支援課
------	-------	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名 51 全国高校総合体育大会開催事業																					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	<table border="1"> <tr> <td>新規・拡充等</td> <td>新規</td> </tr> </table>	新規・拡充等	新規													
新規・拡充等	新規																				
事業費	6,659			6,659																	
特定財源																					
一般財源	6,659			6,659																	
【事業概要】	<p>女子バスケットボールと新体操の2競技を新潟市で開催することを通して、高等学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な高校生を育成するとともに、生徒相互の親睦を図ります。開催期間は女子バスケットボールが令和3年7月24日～30日、新体操が8月10日～12日となります。</p>																				
【事業内容】	<p>女子バスケットボールと新体操の2競技の運営を行います。令和2年度より準備室を設置し、実行委員会を開催しながら、以下の3つの班で業務を分担します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○総務企画係: 予算・決算, 実行委員会総括, 経理, 契約, 広報 等</li> <li>○競技係: 競技種目別大会開催準備計画立案, 競技運営に係る連絡調整 等</li> <li>○輸送警備係: 警備, 輸送, 駐車場, 衛生 等</li> </ul> <p>・財源措置</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>64,652</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入					歳出	64,652			
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																	
歳入																					
歳出	64,652																				
【その他】																					

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	教育委員会	課名	学務課
------	-------	----	-----

別紙2 様式2

単位:千円

事業名	52 就学援助費							
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C			
事業費	調整中	/	1,016,624			<table border="1"> <tr> <td>新規・拡充等</td> <td>拡充</td> </tr> </table>	新規・拡充等	拡充
新規・拡充等		拡充						
特定財源		/						
一般財源	/	1,016,624						

【事業概要】 経済的理由により、就学困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費等の必要な費用の援助を行い、小中学校における義務教育の円滑な遂行を図ります。

【事業内容】

＜認定基準＞

- ・同居家族全員の前年の合計所得が、市が定める基準(生活保護基準額の1.3倍)以下の場合に認定する
- ・上記の所得基準を超えた場合、国民健康保険、国民年金の免除、児童扶養手当などに該当する場合にも認定する

＜支給率等＞

- ・認定基準の1.0倍以下～1.3倍以下の範囲で階層区分を4階層に定め、階層区分ごと支給率100%～25%に定めて支給
- ・所得基準以外の認定は第4階層(25%)で支給

(令和元年度)

- ・平成30年度に実施した新潟市子どもの学習費等実態調査等の結果や今年度、開催した新潟市就学援助制度意見聴取会議での意見等を踏まえ、適正な認定基準や、支給単価・費目などの見直しを検討します。

(令和2年度)

- ・適正な認定基準へ見直すとともに支給単価・費目などを拡充します。

・財源措置

・将来のコスト負担(千円)  
現在、制度の見直しに向けて検討を進めているため、将来のコスト負担は未定です。

【その他】

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	教育委員会	課名	学校人事課
------	-------	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名 <b>53 学校事務支援員配置事業</b>																					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	<table border="1"> <tr> <td>新規・拡充等</td> <td>拡充</td> </tr> </table>	新規・拡充等	拡充													
新規・拡充等	拡充																				
事業費	33,952		15,566	18,386																	
特定財源	11,022		5,049	5,973																	
一般財源	22,930		10,517	12,413																	
【事業概要】	<p>教員の負担軽減を図ることを目的に、国のスクール・サポート・スタッフ配置事業を活用し、学習プリントの印刷などを教員に代わって行う事務支援員を配置します。(平成30年度より開始)                  平成30年度は、5校に配置しました。                  令和元年度は、平成30年度配置5校に12校を加え、合計17校に配置しました。(令和2年度の要求は36校分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度からの配置校における配置前と配置後の時間外勤務時間の減少数                      5校の配置校1校当たり平均約329時間の減少                      5校以外の1校当たり平均約102時間の減少                      (平成29年5月6日と令和元年5月6日の比較)</li> <li>令和元年度からの配置校における配置前と配置後の時間外勤務時間の減少数                      新たに配置した12校は1校当たり平均約167時間の減少                      全配置校17校以外の1校当たり平均約97時間の減少                      (平成30年5月6日と令和元年5月6日の比較)</li> </ul>																				
【事業内容】	<p>次の業務を教員に代わって行うスクール・サポート・スタッフとして、事務支援員を配置します。                  (業務内容)                  学習プリントの印刷, 配布準備, 授業準備の補助など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財源措置 国 1/3</li> <li>・将来のコスト負担(千円)</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td>11,022</td> <td>11,022</td> <td>11,022</td> <td>11,022</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>33,952</td> <td>33,952</td> <td>33,952</td> <td>33,952</td> </tr> </tbody> </table>							R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入	11,022	11,022	11,022	11,022	歳出	33,952	33,952	33,952	33,952
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																	
歳入	11,022	11,022	11,022	11,022																	
歳出	33,952	33,952	33,952	33,952																	
【その他】																					

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	教育委員会	課名	学校支援課
------	-------	----	-------

別紙2 様式2

単位:千円

事業名 <b>54 部活動指導員配置事業</b>																					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	<table border="1"> <tr> <td>新規・拡充等</td> <td>拡充</td> </tr> </table>	新規・拡充等	拡充													
新規・拡充等	拡充																				
事業費	13,184		6,592	6,592																	
特定財源	4,394		2,197	2,197																	
一般財源	8,790		4,395	4,395																	
【事業概要】	<p>「新潟市立中学校部活動指導のガイドライン」を策定し、適切な練習時間や休養日の設定など部活動の適正化を進めている中で、教員の負担を軽減し、中学校における部活動指導体制の充実を促進するための支援を行うとともに、部活動の質的な向上を図るため、部活動指導員を配置します。</p>																				
【事業内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動指導員を16人配置します。(令和元年度は8人配置)</li> <li>・経費内訳</li> <li>【授業期間】 <ul style="list-style-type: none"> <li>平日 2時間×4回/週×40週×16人×1,600円=8,192,000円</li> <li>週休日 3時間×1回/週×40週×16人×1,600円=3,072,000円</li> </ul> </li> <li>【長期休業期間】 <ul style="list-style-type: none"> <li>3時間×5回/週×5週×16人×1,600円=1,920,000円</li> </ul> </li> <li>事業費 13,184千円</li> <li>・部活動指導員の職務 <ul style="list-style-type: none"> <li>技術指導、大会・練習試合等への引率、部活動の管理運営(会計管理等)、生徒指導に係る対応等。</li> </ul> </li> <li>・財源措置 <ul style="list-style-type: none"> <li>国 1/3</li> </ul> </li> <li>・将来のコスト負担(千円)</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td>4,394</td> <td>4,394</td> <td>4,394</td> <td>4,394</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>13,184</td> <td>13,184</td> <td>13,184</td> <td>13,184</td> </tr> </tbody> </table>							R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入	4,394	4,394	4,394	4,394	歳出	13,184	13,184	13,184	13,184
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																	
歳入	4,394	4,394	4,394	4,394																	
歳出	13,184	13,184	13,184	13,184																	
【その他】																					

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	教育委員会	課名	学校支援課
------	-------	----	-------

別紙2 様式2

単位：千円

事業名 <b>55 特別支援教育支援員配置事業</b>																																																												
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	<table border="1"> <tr> <td>新規・拡充等</td> <td>拡充</td> </tr> </table>	新規・拡充等	拡充																																																				
新規・拡充等	拡充																																																											
事業費	522,126		464,674	57,452																																																								
特定財源	3,749		2,209	1,540																																																								
一般財源	518,377		462,465	55,912																																																								
【事業概要】	<p>児童生徒数が減少する中、特別な支援を必要とする児童生徒は増加を続けています。 市立小学校及び中学校に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に特別支援教育支援員を配置し、学校での着替えや排せつ、移動等の日常生活の支援を行い、児童生徒の学校生活の質の向上や事故防止、安全確保等を図ります。</p>																																																											
【事業内容】	<p>市立小中学校の特別支援学級、通常学級及び通級指導教室に特別支援教育支援員を配置します。</p> <p>・当初配置人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H31</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">小学校</td> <td>特別支援学級</td> <td>236</td> <td>272</td> </tr> <tr> <td>通常学級</td> <td>16</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>医療的ケア(看護師)</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>通級指導教室</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td colspan="2">小計</td> <td>264</td> <td>301</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中学校</td> <td>特別支援学級</td> <td>53</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>通常学級</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>通級指導教室</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">小計</td> <td>59</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>323</td> <td>382</td> </tr> </tbody> </table> <p>・財源措置 医療的ケア(看護師配置) → 国 1/3</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td>3,749</td> <td>3,749</td> <td>3,749</td> <td>3,749</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>522,126</td> <td>522,126</td> <td>522,126</td> <td>522,126</td> </tr> </tbody> </table>								H31	R2	小学校	特別支援学級	236	272	通常学級	16	15	医療的ケア(看護師)	3	5	通級指導教室	9	9	小計		264	301	中学校	特別支援学級	53	74	通常学級	5	6	通級指導教室	1	1	小計		59	81	合計		323	382		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入	3,749	3,749	3,749	3,749	歳出	522,126	522,126	522,126	522,126
		H31	R2																																																									
小学校	特別支援学級	236	272																																																									
	通常学級	16	15																																																									
	医療的ケア(看護師)	3	5																																																									
	通級指導教室	9	9																																																									
小計		264	301																																																									
中学校	特別支援学級	53	74																																																									
	通常学級	5	6																																																									
	通級指導教室	1	1																																																									
小計		59	81																																																									
合計		323	382																																																									
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																																								
歳入	3,749	3,749	3,749	3,749																																																								
歳出	522,126	522,126	522,126	522,126																																																								
【その他】																																																												

令和2年度当初予算の個別事業説明資料

部・区名	教育委員会	課名	学務課
------	-------	----	-----

別紙2 様式2

単位:千円

事業名 <b>56 教育ネットワーク構築事業</b>																					
	R2要求額A	R2予算案B	R1予算額C	A-C	B-C	<table border="1"> <tr> <td>新規・拡充等</td> <td>継続</td> </tr> </table>	新規・拡充等	継続													
新規・拡充等	継続																				
事業費	93,516		17,430	76,086																	
特定財源																					
一般財源	93,516		17,430	76,086																	
【事業概要】	<p>各学校と教育委員会を結ぶ教育ネットワーク基盤を整備し、児童・生徒に関わる機微な情報等を教育委員会で安全に管理します。</p> <p>また、教職員の多忙化を解消し、教育の質の維持向上を図るため、統合型校務支援システムを整備し、教職員間の情報共有を促進するとともに、校務事務の効率化を推進します。</p>																				
【事業内容】	<p>(平成30年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新潟市教育ネットワーク構築基本計画策定</li> </ul> <p>(令和元年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新潟市教育ネットワーク 通信回線敷設業務 着手</li> <li>新潟市教育ネットワーク基盤および統合型校務支援システム構築業務 着手</li> </ul> <p>(令和2年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新潟市教育ネットワーク基盤および統合型校務支援システム 機器等賃貸借</li> <li>新潟市教育ネットワーク基盤および統合型校務支援システム データセンターハウジング</li> </ul> <p>(令和3年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新潟市教育ネットワーク基盤および統合型校務支援システム 運用開始</li> </ul> <p>・財源措置</p> <p>・将来のコスト負担(千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>217,032</td> <td>217,032</td> <td>217,032</td> <td>217,032</td> </tr> </tbody> </table>							R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	歳入					歳出	217,032	217,032	217,032	217,032
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																	
歳入																					
歳出	217,032	217,032	217,032	217,032																	
【その他】	<p>教育ネットワーク基盤および統合型校務支援システム構築業務の経費は令和元年9月議会にて補正                      予算額 186,000千円</p>																				